

府民の共同の力で 部落問題解決の最終段階を切り開こう

2006年8月1日

民主主義と人権を守る府民連合

府下の自治体で、京都市で同和にかかわる不正が相次いで報道されています。民主主義と人権を守る府民連合（略称 民権連）が声明を発表しています。紹介します。

民権連とは…70年に部落解放同盟の運動に決別し、部落解放同盟正常化連を結成、76年に全解連に発展改組。さらに04年に部落問題は基本的に解決との認識に立ち、結成された団体。

大阪市における乱脈同和がいま市民から厳しく指弾されています。「同和地区」内外の格差が是正され同和行政が基本的にその役割を終えた今日、大阪府で吹き出している乱脈同和の数々。部落問題の解決をすすめるといってきた解同や行政は部落解放の名に隠れて何をしてきたのか。市民の疑問は募るばかりです。しかし、芦原病院問題、造園関連事業を巡る不正入札事件、飛鳥会事件など、大阪府における同和行政をめぐる問題に対する解同、大阪府・大阪市、マスコミ、警察等の対応は、これらの問題の本質や真の解決策を解明するどころか、解同擁護、これまでの体制擁護を基本になされているものばかりです。これではない

つまで立つても部落問題の完全な解決は実現できません。そこで今回の問題のとらえ方および今後の展望について、民権連としての基

本的な見解を明らかにするもの

はじめに

水平社以来の部落解放運動は、封建的身分差別の残り物を克服し、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」をめざした我が国における民主主義と人権を確立するたたかいでした。この部落解放運動は、内部に派生した「部落民以外すべて差別者」とする部落排外主義とのたたかいを通して前進してきました。とりわけ1960年代末に部落解放同盟指導部を略取した暴力と利権を特徴とする部落排外主義とのたたかいは、部落問題の性格を民主主義の課題として明確にさせ、日本社会における民主主義と人権の水準を引き上げ、国民融合による部落問題解決こそが本流であることを鮮明にさせました。

私たちが、1970年に解同の間

違った運動と決別し、部落解放同盟正常化全国連絡会議（正常化連）を結成して（76年全解連に発展改組）36年になります。これ以降、解同幹部の無法な暴力・利権あさは大阪府下中ふきあれました。警察は彼らを泳がせ、「赤旗」以外のマスコミはいっさい報道しようとしませんでした。こうした中で、私たちは、彼らの蛮行を許せば部落問題解決を逆行させる、といかなる暴力や迫害にも屈することなく敢然とたたかってきました。大阪は、解同の全国的拠点であり、反共、暴力、利権あさりの震源地でありました。

私たちは、府下各地で、命をかけた活動を展開しました。その特徴は、第一に、解同幹部の暴力、利権あさに反対し、府民に理解・支持される部落解放運動をすすめてきたこと、第二に、大阪府をはじめとする不正・乱脈な同和行政に反対し、「府同促・地区協」方式による「窓口一本化」行政の是正と同和行政の終結を求めてきたこと、第三に、解同幹部による教育介入に反対し、子どもと教育を守るためにたたかってきたこと、第四に、「矢田事件」をはじめとする裁判闘争を果敢にたたかい勝利してきたこと、第五に、地域の自治・連帯を広め、ふれあいのあ

私たちが、2004年6月6日。部落問題は基本的に解

決されたとの認識にたつて、水平社以来の部落解放運動から卒業し、民主的な地域づくり、「人権」の名による人権侵害から府民を守る、公正で民主的な行政を求め、解同の暴力、無法、利権あさを根絶する、ことを目的にした新たな運動組織「民主主義と人権を守る府民連合」（民権連）を結成したのであります。

マスコミも連日のように報道するようになってきました。大きな変化です。民主主義と人権を何よりも大切にしてきた私たちのたたかいの成果だといえます。歴史の審判は下りました。何が正しかったのか。誰が正しかったのか。部落解放の旗を汚し利権獲得に狂奔する解同、それに屈服し乱脈行政をすすめる大阪府と大阪市。こんな人たちに部落問題を語る資格はありません。（つづく）



毎年夏には全国各地で民間の教育研究会の大会が開かれています。この夏、全国大会に参加した方からその様子を伝えてまいります。

第一回
「学力の基礎を鍛え、どの子も伸ばす研究会」 略称 学力研

毎年、夏は大阪で開催される全国大会です。今年は8月5・6日とおこなわれました。記念講演に予定されていた川島隆太さんが急病のため急遽、講演者の変更。それが、斎藤孝さんでした。エル大阪のホール一杯の900名近くが生徒になり、斎藤先生の授業を受けました。声をしっかりと出している音読。そして、話の要点をまとめるなど、緊張感があ

ています。学力研では今、基礎的な力を大切にしつつ、授業づくりなどの研究にも取り組まだしています。また、憲法変える動きが強まる中ですが、研究会の有志のメンバーで学力研9条の会をつくっているのもユークなところ。豊中からたくさんの先生方が全国大会に参加されていました。どの分科会・講座もとても好評だったようです。参加された方からそんな声を聞きました。

（桜井谷東 三輪）

学力研のHP

<http://www2.odn.ne.jp/hag64950/>

歩きしてあちらこちらで取り組まれ